会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（菱沼自治会）
2　日時	平成 30 年 6 月 16 日（土）16：30～17：30
3　場所	菱沼自治会館
4　出席者	（資源循環課）添田主幹、永井主任 （環境事業センター）篠田主幹、安齋担当主査 （菱沼自治会）参加人数：25 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●戸別収集を開始する場合、ごみ有料化とは別に手数料を徴収することはあるか。 →現段階では、ごみ有料化の手数料に戸別収集も含まれていると考えているため、別に徴収することは考えていない。 ●家庭から排出される燃えるごみの性状分析はどのようにおこなったのか。 →平成２８年度に調査した。収集されたごみを実際に手選別し、割合から算出した。 ●戸別収集が始まると、各家庭のカラス対策が必要になるのではないか。 →先進市の対策として、ゴミ箱の中に入れて出したり、ネットを家庭で購入し、対応している。 ●神奈川県内で、相模原市や横浜市がごみの有料化等実施していないのはなぜか。 →議論にはあがっていると聞いている。しかし、政令都市は規模が大きいため、議論が進んでいないのかもしれない。 ●寒川町はごみの有料化を実施しているのではないか。 →寒川町は、指定袋制といい、ごみ袋の作成料金のみ徴収している形なので、町としての利益はない。 ●松林地区のまちぢから協議会の市民集会では、有料化・戸別収集をテーマに２８年、２９年と議論してきて、実施に否定的な意見もあったが、是非、戸別収集と有料化はセットで考えていただきたい。しかし、戸別収集が始まると、自治会で購入した、カラスいけいけネットが不要になってしまう面もある。実施までのスケジュールはどうなっているのか。 →今すぐに実施はない。モデル地区での実施や、戸別収集のルート検討、費用の算定等を検討し、来年度の方針決定を目指している。戸別収集を望む声が多くあることは市としても認識をしている。

	●最終処分場が使用できなくなると、相当な経費がかかるのではないか。 →２０３３年以降については、灰の全量資源化や市外への持ち出しが考えられる。資源化については、現在も一部行っているが、１ｔあたり５万円経費がかかる。茅ヶ崎市は8000ｔ焼却灰が出ているため、全量資源化するとなると約4億円かかる計算になる。未来に向けて安定的なごみ処理を行うためには、ごみの有料化が必要なのではないかと考えている。 ●この話の根本的なところは、何を一番初めに取り組むべきと考えているのか。 →ごみの減量化・資源化を一番に考えている。その方法のひとつとしてごみの有料化を考えているところである。併せて、ごみの減量化に資する啓発活動についても引き続き行って行く。 以上